

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第6学年			学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	0	+3	+3	令和8年度の目標	+2.0	+3.0	+5.0	+12.0	+3.0	+5.0	+3.0	+8.0
令和7年度の結果	+4	+3	+7	令和7年度の結果	+2.6	+9.4	+0.7	+1.3	+0.4	+5.6	+9.9	+14.0
令和6年度の結果	0	-8	-8	令和6年度の結果	+1.3	+0.9	-5.3	+2.0	+1.7	+2.8	+0.7	+3.8
令和5年度の結果	+1	-4	-3	令和5年度の結果								

年度	令和7年度		令和8年度	
内容	成果と課題		目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内研究会で算数科の基本的な授業スタイルの共有と協議を行い、授業力向上に取り組むことができた。 ○学力向上委員会を中心に、学力PT等で組織的、計画的に遂行し、全学年でポイントをアップさせた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章を正しく読み推敲する姿勢がまだ定着しない。 		<ul style="list-style-type: none"> ○習熟度等に応じた個別最適な学びとなるようにする。 ○主体的な学びとなるよう、授業力向上を組織的に目指す。 ○児童が場や目的に応じて思考力・表現力・判断力を身に付けられるような学習を实践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教員が指導教諭の授業公開を参観し、伝達研修をすることで、授業力向上へと結び付けさせる。 ○2～6年生は、東京ベーシックドリルテストや定着度調査を活用し、個人カルテを作成し、個別最適な学びを推進する。 ○第3学年で日記指導、第4学年でよもYOMUワークシートを活用し、目的に応じて的確に書くことができるようにする。
第1学年	<p>【成果】漢字の読み・書きが定着している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な計算(くり上がり・くり下がり含む)の技能は高い。 <p>【課題】問題で何を聞かれているのか正確に把握する力が不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○十の位、一の位の認識と、30分～59分までの時刻の読み取りに課題が残る。 		<ul style="list-style-type: none"> ○平仮名、片仮名、漢字、基本的な四則計算の習得を確実にする。 ○国語と算数は授業スタンダードをもとに、授業改善に取り組むとともに学びの基本スタイルを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の個別支援のみならず、放課後、長期休業期間、家庭学習の充実を図り、すべての児童に確かな学力の定着を図る。 ○児童が学習規律を身に付けるとともに、学び方を知り意欲的に学習できるよう、教員同士が相互に授業参観するなどして授業改善を図る。
第2学年	<p>【成果】漢字の読み・書きが定着している。</p> <p>【課題】文章を粘り強く読む力が不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○L→dl, dl→mlなどの単位変換、時間を分に直す問題で誤答が多い。 ○また複数の項目から数を読み取り、表やグラフに整理する問題で、数の見誤りがある。 		<ul style="list-style-type: none"> ○音読、読書の習慣化とともに、考えたことを文章にすることができるようにする。 ○全児童がかけ算九九を暗唱できるようにする。 ○算数科で自分の考えを図や表などを使って表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書指導計画の見直しを図り、より充実するよう改善する。 ○家庭への協力を求めたり、担任以外の教員がチェックしたりするなど誰一人取り残さない方針を徹底する。 ○算数科では、自分の考えを図や表、数直線に表現し、友達に考えを伝え合う時間を設ける。
第3学年	<p>【成果】接続詞の活用・「はじめ・中・終わり」を意識した文章構成を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小数、分数の計算や基礎基本の定着(応用にはまだ課題が残る) <p>【課題】文章を書く力と漢字の読み書き、四則計算と資料の活用に課題がある。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを表現する習慣を身に付け、文章構成に関する理解を深めるようにする。 ○身近な生活と言語、数量関係を結び付けて考えることができるようにする。 ○複数の学習の中で資料から読み取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての教科指導において、自分の考えをもち、文章に表現する時間を確保する。 ○日記指導を通じて、表現したいことを的確に表すことができるよう校内研究会を中心に指導の工夫を図る。 ○算数科では、自分の考えを図や表、数直線に表現し、友達に考えを伝え合う時間を設ける。
第4学年	<p>【成果】登場人物の行動や心情を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○折れ線グラフや棒グラフの読み取り活用することができる。 <p>【課題】文章を書く力と漢字の読み書き、四則計算と資料の活用。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○文章を読み取ることから自分の考えをもち、文章に表現することができるようにする。 ○わり算を中心に四則計算を確かに習熟させる。 ○複数の学習の中で資料から読み取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物事に対して関心をもち、自分の考えをもち、よもYOMUワークシートを活用する。 ○ドリル、ドリルパーク等を活用して個に応じた学習ができるよう最適化を目指す。 ○算数科では、自分の考えを図や表、数直線に表現し、友達に考えを伝え合う時間を設ける。
第5学年	<p>【成果】文章を書く力、資料の活用。</p> <p>【課題】説明文の要約。割合、数直線を使った立式。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○音読、読書の習慣化とともに、考えたことを文章にすることができるようにする。 ○文章構成を理解し、要約することができるようにする。 ○算数科で自分の考えを図や表などを使って表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物事に対して関心をもち、自分の考えをもち、よもYOMUワークシートを活用し文章に表す機会を設定する。 ○ドリル、ドリルパーク等を活用して個に応じた学習ができるよう最適化を目指す。 ○算数科では、自分の考えを図や表、数直線に表現し、友達に考えを伝え合う時間を設ける。
第6学年	<p>【成果】漢字を正確に書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最大公約数を求めること。 <p>【課題】空欄に入る主人公の心情を書ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分数の大きさを比べて理由も記述すること。 		<ul style="list-style-type: none"> ○音読、読書の習慣化とともに、考えたことを文章にすることができるようにする。 ○文章構成を理解し、要約することができるようにする。 ○算数科で自分の考えを図や表などを使って表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物事に対して関心をもち、自分の考えをもち、よもYOMUワークシートを活用し文章に表す機会を設定する。 ○ドリル、ドリルパーク等を活用して個に応じた学習ができるよう最適化を目指す。 ○算数科では、自分の考えを図や表、数直線に表現し、友達に考えを伝え合う時間を設け、深い学びに向かわせる。